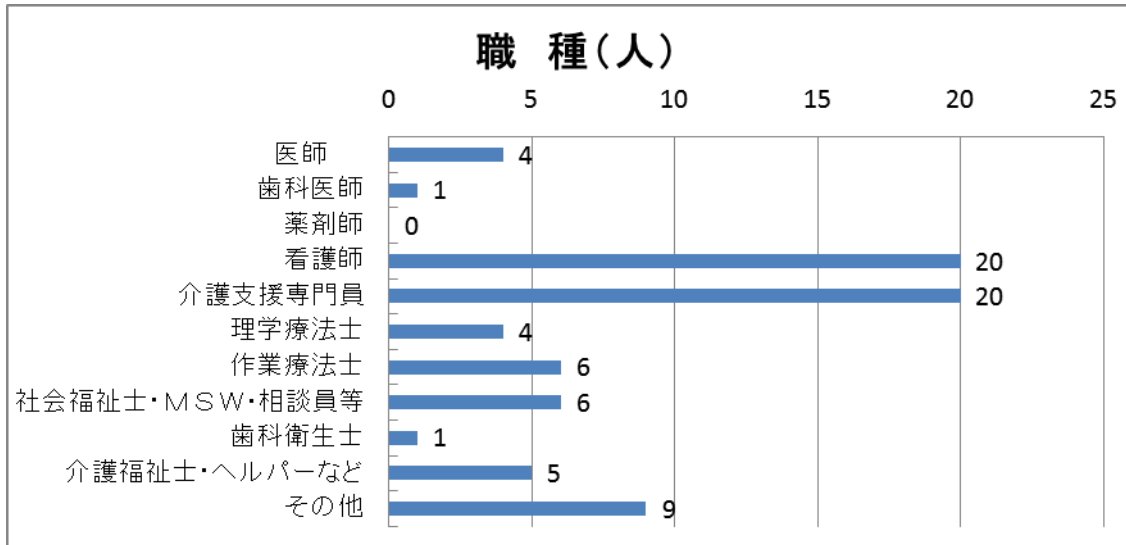


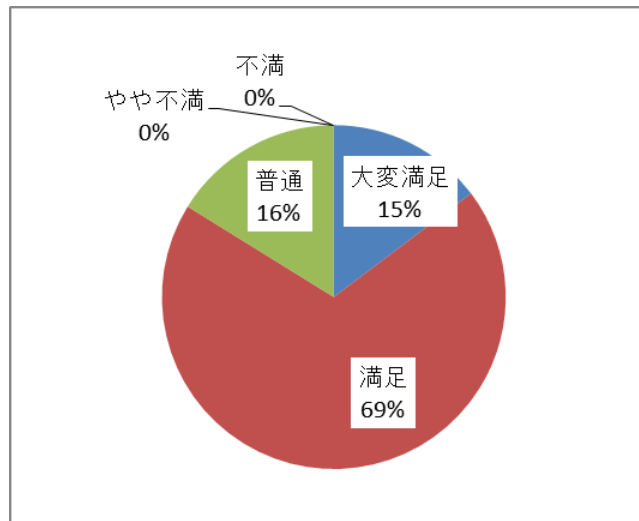
第2回在宅ケア多職種連携活動発表会 アンケート（結果）

平成27年2月7日（土）14時～
 ウェルパルクまもと

回答数 74 / 出席者 116（回答率 63.8%）



1 本日の活動発表会はいかがでしたか。



2 今後、どのような内容の話を聞いてみたいですか。また、地域や事業所の取り組みで聞いてみたいものはありますか。（抜粋）

- ・ ささえりあが抱えている地域の課題、問題を聞いてみたい。ちょっとしたことでも、その解決が包括ケアに繋がると思う
- ・ 地域で活動しているささえりあの活動内容など持ち回りででも実情を知りたい地域ケア会議の現状について
- ・ 各地域で開催されているサロンや認知症カフェ、その他予防事業について活動されていることを知りたい
- ・ 生活行為向上マネジメントツールをもう少し詳しく学んでみたい
- ・ 夜間の頻回な痰吸引など、どのようなサービスを利用すれば家族は夜間帯に休めることができるのか。巡回（定期）で夜間も何回も来てくれるのか。
- ・ 主治医によっては、認知症専門医の受診に同意してくれないことが多く、一般の介護職として、どうしたら利用者を専門医につなげられるのか分からない。

- ・ 定期巡回での具体的取り組み、看取りなどが聞きたい
- ・ 定期巡回のターミナルや医療依存度の高い方の訪問看護とヘルパーの関わりについての具体的事例を紹介してほしい
- ・ 様々な施設での問題点、サ高住や特老の医療必要度の増加の問題と取り組み、急性期病院への啓発
- ・ いろいろな施設ができていますが、その違いや費用などを知りたい
- ・ 支援困難な事例を多職種で連携して支援することで変化していった、いわゆる成功事例
- ・ 地域（在宅）で認知症の支援ができていいるケースがあれば、独居でも家族がいる場合でも、各サービスのみではなく、住民も一緒に支えているケースを。住民が在宅ケアをどう受け止めているのか、地域での取り組みを知りたい
- ・ 研修での事例検討（医師の検討）の内容を簡単に知りたい
- ・ 熊本市内にあるインフォーマルサービスとの連携について、取り組みや事例紹介など
- ・ 地域包括ケアシステムについて、事業所間の連携が地域で具体的に上手くいっている例や方法を知りたい
- ・ 事例を通し多職種と連携を図ることで改善が図れたケースや、取り組み上困難と思われた事など聞いてみたい
- ・ 独居、身寄りのない高齢者の入院・退院について困難な状況が多い。上手くいった事例、いかなかった事例を聞きたい
- ・ 今後増えていくだろう在宅看取りの連携の仕方を、事例を通して聞いてみたい
- ・ 終末期ケアの事例などを聞いてみたい
- ・ 認知症への対応
- ・ 連携は重要なのはわかるが、連携とは何なのか。「報告」「相談」「連絡」だけではないような気がする。専門職としての意見、それぞれの考え方、とても難しいと思っている。他の事業所の連携の仕方などはどうなのだろうか。
- ・ やはり「連系」「連携」が課題なのでしょうが、職種を超えて人と人がつながる、重なる時が見える取り組みこそが、みんなが元気になることだと思う。そんな発表や意見交換ができると良いと思った。
- ・ 地域が連携していく必要がある！とはよく言われるが、日々業務にあたる中で具体的に自分たちに何ができるのか、何を意識すべきなのかなどの自分達が「踏み出す一歩」のヒントとなるような話を聞きたいし、話し合えたらと思う。
- ・ それぞれの職種について求められていることを話していただけたら参考になる
- ・ ケアマネとしてのケアプランへの反映や本人、事業所、家族への役割分担への繋げ方など、もっとツールを知りたい
- ・ 在宅ケアを受けられたご家族、ご本人の生の声を聞かせてほしい
- ・ 医療と介護が何でも言えるようになったら嬉しい
- ・ 歯科関係の内容が見たかった
- ・ 寸劇にしたケース検討も面白いと思った
- ・ 宇土からの参加。他の地域の取り組みを聞き、自分の地域でも活発に行えるように刺激を受けられたらと思う
- ・ 北区の医療ネットワークを他の区の方へ宣伝してほしい
- ・ 本日のような職種別の実際の話がたくさん聞きたい
- ・ 介護職の苦労話など。新しい制度があるがゆえ聞きたい
- ・ 介護支援専門員の質の向上の為に取り組んでいること

- ・ 「NPO 法人つなぐ」さんの取り組み（天草が拠点）
- ・ 小規模多機能施設コレクティブでの取り組み
- ・ 熊本再春荘病院小児科島津医師の NPO 法人 NEXTEP の取り組み（小児在宅医療）

3 その他、今回の研修会に関するご意見・ご感想、今後のご要望等がありましたらご記入願います。 （抜粋）

- ・ 顔の見える関係作りの場の提供、特にてとてとココロ支援研究会の活動はとても参考になった。多職種連携が楽しそうだった
- ・ 初めて参加した。てとてとココロの取り組みと劇の質の高さにも感動した。また活動発表も事例や実際の取り組みを分かりやすく伝えていただき大変勉強になった
- ・ てとてとココロの公演がわかりやすく、そして楽しくてよかった
- ・ もっとリハ職がこのような場に顔を出さないと、リハビリテーションの概念は伝わらないと痛感した
- ・ 生活行為マネジメントは有効な評価シートと思う。ただリハ職以外には聞き慣れないため少し難しさもあったかと思う
- ・ 作業療法士への仕事依頼の内容が分かって良かった。利用者への「達成感」ケアマネだけでは難しいので依頼したい
- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のことが理解できた。そこにケアマネの必要性はないかもしれない
- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、まだまだ知らなかったことを聞くことができ、関心を持てた
- ・ 在宅に帰りたくても、一人暮らしや介護力不足で帰れない人も、定期巡回・訪問などが利用できれば可能ではないかと思った
- ・ 定期巡回サービスなどあまり知らなかったサービスを知ることができた
- ・ 北区医療ネットワークの事例検討会の中で、地域包括ケアシステムを叫ばれている昨今、在宅支援へのケアマネ、事業所との連携への事例など紹介してほしい
- ・ 北区における地域包括ケアシステムに向けた取り組みが十分参考になった。専門的なところに限らず、多方面にわたるケース、顔の見える連携など素晴らしいと思った
- ・ 北区医療ネットワークの包括ケアに関しての説明などは分かりやすかったが、もう少し連携を図られたことをお話いただき良かった
- ・ 北区医療ネットワーク研究会の活動をもっと詳しく知りたかった
- ・ 北区の取り組みはとても素晴らしい。他の区にも広めてほしい
- ・ てとてとココロの寸劇はとてもわかりやすかった。作業療法士の発表はちょっと難しかった
- ・ 事例をもう少し深く発表してもらえればもっと良かった
- ・ 劇もあり、楽しく参加させていただいた。医師との連携がなかなか難しい所であり、このような研修があると多職種の関わりがみえることができ良かった。ケアマネの仕事としてのポイントや支援の仕方、サービスの情報を詳しく学ぶことができた
- ・ いろいろな情報を知る機会になっていると思う。できればどんな職種の方が来られているか知りたい
- ・ 医師との連携のとり方など、ケアマネとして興味深い
- ・ 和気あいあいとした雰囲気が良かった

- ・ 劇が楽しく分かりやすかった
- ・ ディスカッションが良かった。
- ・ 多くの方の「頑張り」「元気」「悩み」が伝わってくる発表会となったと感じた。今後も多くの方の思いが感じられ、対象となる方の生活が見える会であってほしい
- ・ 今後も続けてもらいたい。その後の飲み会を企画してほしい(情報交換)。前回は市長が来られたが、今回来られていなかった。是非来ていただくと嬉しい
- ・ 連携を考える時に、多職種それぞれの役割や専門性についてお互いが認知している必要があると思うので、それぞれの職種が地域からどんなことが期待されて求められているのか考えることをしていきたいと思う
- ・ 今後も新しいシステムの紹介など内容に取り入れていってほしい
- ・ 研修会の存在の周知、範囲について。来られる方は大体他の会でも見かける方が多いようで、裾野を広げると言う意味からも広くお知らせしてはいかがか
- ・ 担当者会議を速やかに開催する為には、事前にプラン作成が必要であり、認定結果の交付や認定資料の交付が早く行われることが必要である。行政にはその努力もしていただきたい。本当に重労働である
- ・ 年度末は発表したくても準備に時間がかかるためできない。開催時期について検討をお願いしたい。
- ・ 様々な職種、団体の活動を知ることができた。活動の参考、ヒントになる
- ・ 3点とも利点だけが良く見えた。現実的な課題に皆が取り組む必要があると思う（特に定巡）
- ・ 熊本市の目指す方向を示してほしい